

《問い合わせ先》

第十一管区海上保安部 海洋情報調査課
課長 松本 正純
098-867-0118 (内線 2530)

沖縄科学技術大学院大学 メディアセクション
セクションリーダー 名取 薫
098-966-2389 (直通)



第十一管区海上保安本部



OIST

沖縄科学技術大学院大学

平成25年8月30日

国内初!! 海洋観測ロボットの長期運用開始

8月7日 測量船「おきしお」により、OIST所有の「Wave Glider (海洋観測ロボット)」を沖縄本島南東海域に投入しました。Wave Gliderの本格的な長期運用は、日本で初めてで、沖縄本島～大東諸島間を繰り返し往復し、平成25年12月まで気象・海象の連続観測が実施されます。

沖縄科学技術大学院大学（以下、OIST(Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University)という。）と十一管本部は、平成24～26年度の間、相互協力を図り、「沖縄周辺海域における潮汐モデル及び海洋シミュレーションの研究の高度化」と、「漂流予測の精度向上」を目指すことを目的に、「業務協力に関する協定」を締結しています。その一環で、8月7日に、十一管本部所属測量船「おきしお」により、OIST所有のWave Glider (海洋観測ロボット)を、沖縄本島南東方の海上に投入しました。

Wave Gliderは、世界中の海洋研究者が注目している次世代型の観測ロボットで、波浪の力を利用して洋上を自在に動きます。太陽光発電により得た電力で海流・塩分・水温・気温・気圧・風などの気象・海象データを観測し、人工衛星を経由して観測データを送信する画期的な観測機器です。今回の観測は、平成25年12月までの間、沖縄本島～大東諸島間の往復を繰り返しながら、連続観測を実施する計画です。このように本格的に長期連続観測を行うのは、今回が国内で初めてです。

今回の観測により得られるデータは、沖縄本島東方海域における中長期的な気象・海象の変化を見極める上で、非常に貴重なデータであり、OISTが進める海洋シミュレーションの高度化による流況予測にも役立つことが期待され、実現すれば、海洋レジャー、環境保全、海上運輸、漁業等様々な分野への貢献も期待されます。

なお、Wave Gliderには衝突予防措置として、レーダーリフレクター及び黄色点滅式のライトが取り付けられており、第十一管区水路通報で最近の位置をお知らせしています。

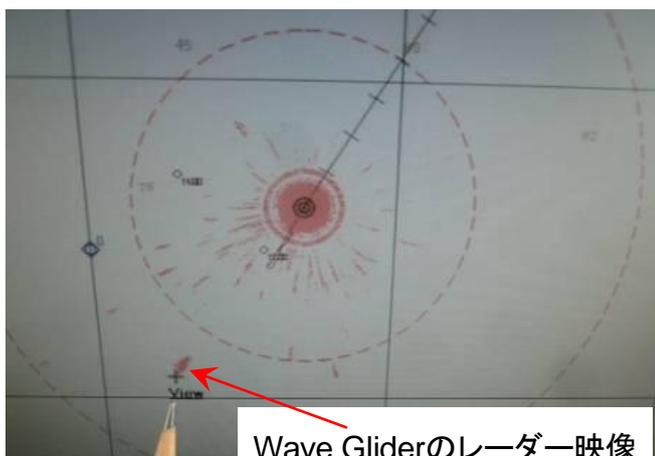
【観測区域】



【投入時の様子】



【レーダー画像】



Wave Gliderのレーダー映像

【航走中のWave Glider(8/24空撮)】



【十一管区水路通報掲載 (随時更新情報)】

2013年757項 南西諸島 - 沖縄島東方 至 大東諸島 海洋調査実施

<十一管区水路通報 25年 667 項関連、750 項削除>

自走式無人観測機器 (長さ 2m、幅 0.6m、高さ 1.2m) が
下記地点付近を観測している。

位置 下記地点付近
26-06-20.2N 129-33-03.0E (28日 1300)

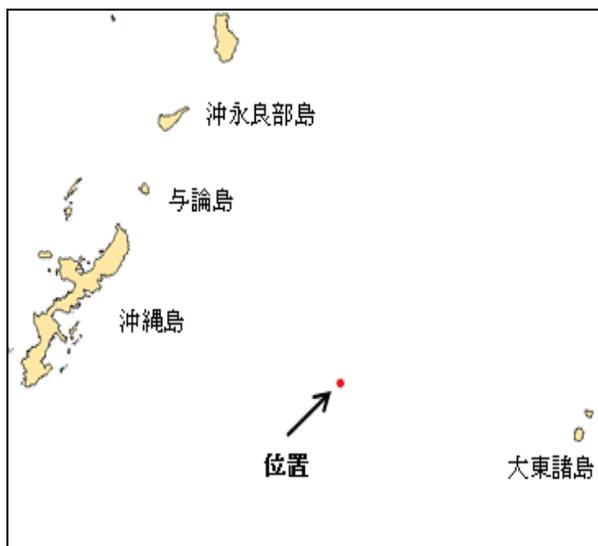
備考 自走式無人観測機器には黄色点滅灯及び
レーダーリフレクターが設置されている。
自走式無人観測機器の位置は定期的に通報する。

海図 W182B

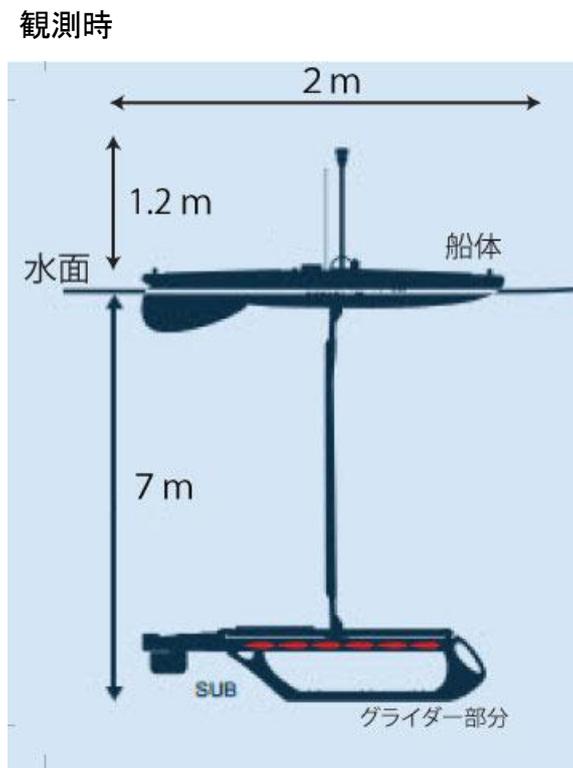
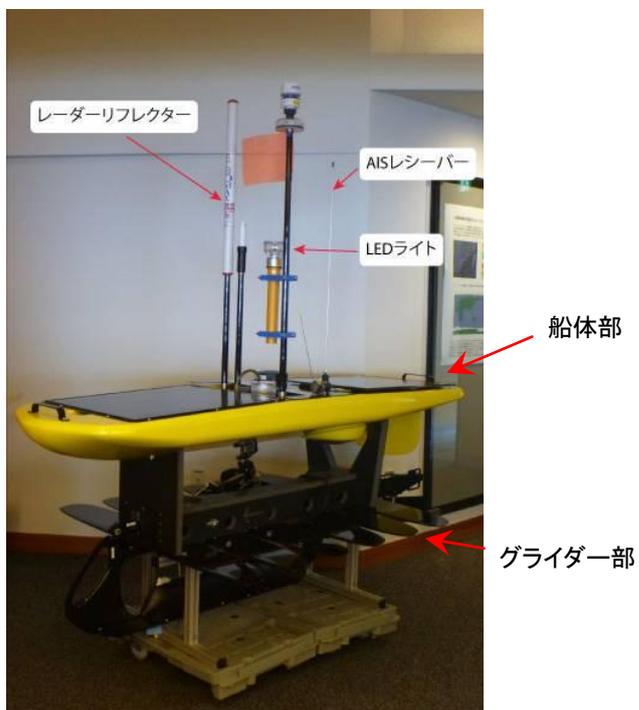
出所 第十一管区海上保安本部

掲載日 平成 25 年 8 月 28 日

水路通報 <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN11/index.html>



【Wave Gliderについて】



船体部 : 長さ208cm × 幅60cm

グライダー部 : 長さ191cm × 幅107cm

重量 : 90kg(船体部+グライダー部)

取得データ : 海流・風力・気温・気圧・水温・塩分

平均航行速度 : 波浪階級0~2で0.1~1.25kt、波浪階級3~6で1.25~2.0kt

※人工衛星を利用した陸上からの指示により遠隔操縦可能